

第57回福島県高等学校バスケットボール選手権大会

兼 WINTERCUP2020

令和2年度 第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会福島県予選会

決勝戦

福島東稜 100

56 福島南

クルーチーフ 香野 学

(県北) ○

● (県北)

1st アシスタント 植田 浩司

2nd アシスタント 羽田 直揮

21 - 12

29 - 18

19 - 13

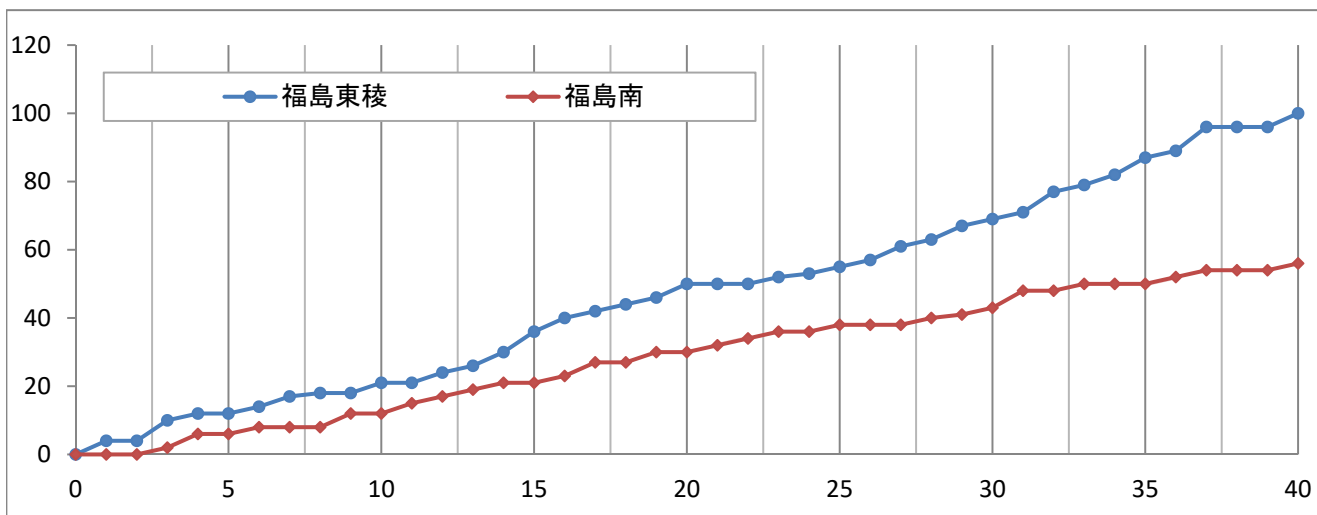
31 - 13

-

No. 5A1

日時: 2020年11月2日(月) 10:00

会場: 郡山西部体育館



福島東稜

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
0	多田 優次朗	0	0	0	0	0
1	佐藤 義宗	-	-	-	-	-
2	* 佐藤 敢太 (C)	6	1	1	1	3
3	渡邊 蒼司	-	-	-	-	-
7	高橋 楽	0	0	0	0	0
8	* 小林 悠真	8	0	3	2	1
10	大栗 優斗	27	4	7	1	1
12	黒羽 優太	2	0	1	0	0
13	* 福地 真央	17	4	2	1	2
14	* MMONU CHISOM FRANKLIN	38	0	14	10	0
21	* 野内 拓実	0	0	0	0	1
32	加藤 翔太	0	0	0	0	1
35	福島 蓮	0	0	0	0	0
45	田島 康太郎	-	-	-	-	-
65	吉田 柁一	2	0	0	2	0
コーチ	小田島 誠					
合計		100	9	28	17	9

福島南

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	鈴木 一創	2	0	1	0	3
5	* 郡司 優也 (C)	9	2	1	1	1
6	* 高橋 克徳	12	0	6	0	4
7	* 鈴木 大玖斗	6	0	3	0	4
8	* 近藤 陸	10	0	4	2	2
9	清野 蓮	0	0	0	0	1
10	* 上野 龍信	0	0	0	0	4
11	遠藤 祐亮	4	0	2	0	3
12	小田嶋 裕斗	-	-	-	-	-
13	内山 太陽	2	0	1	0	0
14	大渡 直央	-	-	-	-	-
15	太田 翔琉	-	-	-	-	-
16	富田 滉	-	-	-	-	-
17	深谷 ナナ	0	0	0	0	0
18	菅野 翼	11	1	4	0	0
コーチ	水野 慎也					
合計		56	3	22	3	22

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

1Q 東稜はハーフコートマンツーマンDF、南は2-3ゾーンDFでスタートする。先制点は、東稜#14のFTから始まり、#14のリバウンドからの得点、#13の連続3Pでスコアを重ねた。すぐさま南も#11や#8のミドルで応戦するも、東稜の流れを止められず、12-6で南がタイムアウト。しかし、その後も、東稜の#13#14を中心とした攻めが続き、東稜がリードするも、南も#6のドライブで応戦し、1Qは東稜が21-12、9点リードで終える。

2Q 南#5の3P、#6のドライブにより連続得点とし、2-2-1オールコートゾーンプレスで一時4点差まで追いついたが、東稜#10のバスケットカウント・連続3Pで点差を再度引き離れた。南はファールトラブルの苦しい展開の中、途中出場で#18のミドルシュートなどで応戦したが、50-30で東稜20点リードで終える。

3Q 南は3年生を中心としたメンバーで2-2-1からのマンツーマン、東稜はハーフコートマンツーマンで始まり、南は堅い守りからリバウンド争いに競り勝ち、#6ミドル、#7ゴール下シュートで連続得点をし、東稜はすかさずタイムアウト。その後、東稜は落ち着きを取り戻し、#14のドライブやゴール下での得点を重ね、69-43と東稜の26点リードで終える。

4Q 南は積極的にメンバーを入れ替えながら、2-2-1のオールコートゾーンプレスで応戦を試みるが、東稜が落ち着いてフロントコートに運び、東稜#10の連続3P等で確実に得点を重ねていった。東稜は終始ボールマンへのプレッシャーをかけ続け、リバウンドからブレイクへと展開し、中外のバランス良く攻め続け、100点目のシュートを決めたところで試合終了。東稜は2年連続優勝とウィンター

記載者

県南

(所属)

山田 拓也